

新年の抱負のその後

3つのプロジェクト

2019.07.11

No.73

校長 渡邊 幸二

今年の夏は過ごしやすく思います。夜の気温が下がるせいか、プールの水が冷たい日があります。昨年のような暑過ぎるはいやですが、こんな夏の気候なら大歓迎です。1学期も残すところ2週間。激動の、そして忙しかった1学期もあと少しです。もうすぐ子どもたちも私たちも楽しみにしている夏休みです。

新年の抱負の進捗状況

2019年になって半年が過ぎました。校長室だよりNo.45で示し、保護者等にも公開してきた3つのプロジェクトの進捗状況を自分なりに評価してみます。

(○：かなり、または、半分程度は進んだ ▲：少し進んだ、課題が多い ×：全く進んでいない)

	プロジェクト内容	進捗状況
浜田「第一」プロジェクト	・子どもの「じりつ」を第一に据える すべての教育活動を「じりつ」の面から再考してみる →教師が段取りし過ぎず、子どもに考えさせる 学習面のみならず、生活・健康・体力・食育等、すべての面で「じりつ」を志向する	○
	・公益・貢献活動を第一に考える 生活科・総合はもちろん、各教科でももっと外に発信・表現していく 町かど美術館・音楽会、発表会・コンクール等への参加	○ ▲
	・授業を第一にする 授業づくり、学級づくりを第一に 行事等のねらい・価値を第一に	○
もったいないプロジェクト	・保護者の負担軽減 算数セット、書き初めセット・・・ リサイクルの推進	○
	・時間と労力削減(働き方改革) 校務分掌の優先化・重点化(最小化) 経営概要・通知表の検討 専門家・校外支援員への要請、PTAの協力	○ ×
	・図書司書の活用 図書室改革、学習センター化 さらに一工夫 不要図書の一掃(移動・廃棄)	▲ ○
	・学校の断捨離 物置、空き教室、職員室等の整理整頓 北校舎システムの廃止、北校舎の再利用	▲
見える化プロジェクト	・名前の見える化 ネームプレート改革 & 全校児童・地域の方の名前を覚える、名前を読んで挨拶する	▲
	・課題・問題の見える化 すべての教職員で同一方向対応のために	×
	・企画の見える化 ネーミングにより全職員意識化へ・・・総合的な学習＝「HAMADA ミライ科」	○
	・学校経営説明のさらなる見える化 応援団としての学校評議員会 学校公開(さらなる連携、研究授業の保護者公開、代表委員会公開)	○ ○

浜田「第一」プロジェクト

先生方のご理解と率先垂範の取り組みによりかなり進んでいると考えています。会議毎に先生方から出されます起案書等を見ていると、方針、ミッションなどを具現化する方向で出てくるので、読んでいてもワクワクしてきます。町かど美術館等の取り組みは、これから一歩ずつ進められればうれしいなと思います。



もったいないプロジェクト

もったいないプロジェクトについてはかなり進んだものもあります。図書館改革については、当初鶴岡市の「ソライ」をイメージした改良をと思いました。しかし、今後プログラミング学習の推進と共に、パソコンルームの変更が考えられ(タブレットの導入など)、今年すぐに変更してしまうと二度手間になる可能性があるかと判断しました。また、探究型学習、そして学び合いに適した情報室(図書館+パソコン室)を考える方が将来的かと判断し、現在は情報室のイメージ収集を主として行うようにしています。不要図書については、TさんやK先生を中心にかなり進めてくださっているようです。



また、探究型学習、そして学び合いに適した情報室(図書館+パソコン室)を考える方が将来的かと判断し、現在は情報室のイメージ収集を主として行うようにしています。不要図書については、TさんやK先生を中心にかなり進めてくださっているようです。

時間と労力削減(働き方改革)

一番進んでいないのは「働き方改革」ではないかと反省しています。先生方に高いレベルでの実践を求めるばかりで、業務削減が今一歩進んでいない状況です。今後、保護者・地域のみなさまに強く働きかけながら、先生方が本業に集中できるよう業務の改善を進めていきたいと思ひます。



見える化プロジェクト

特別支援では「視覚支援」と言いますが、やっぱり見える化は効果抜群だと感じます。見える化だけでなく、プラス積極的な働きかけも重要だと先日気づかされました。

名前の見える化

市民体育祭があった日、会場に2年生のA君が来ていました。K.H先生が「先生の名前わかる？」という質問をしましたが、A君は答えられませんでした。しかし、私の名前も加えて何とか覚えさせました。翌日になると忘れていたと、再び質問してみました。半分忘れていましたが、さすがに毎日質問していると定着してきました。昨日は、私の顔を見るとすぐに「わたなべこうじ先生」と呼んでくれました。名前を視覚化するネームプレート、プラス何か覚えようとするきっかけをつくってあげることで、この動きはさらに活性化するのではないかと考えています。「他者意識」向上には必要な取り組みです。

課題・問題の見える化

昨日、給食を食べながら二中学区の養教部会のお話を聞きました。二中では30分限定のケース会議を開いているという話でした。大変いいことだと思います。それがホワイトボードミーティング(WBM)であることも効果的だと思ひました。教育相談のWBMはまさしく「見える化」です。本校にもしホワイトボードが必要であればすぐに購入を検討してください。良いことは「まずやってみる！」です。